

# 西毛広域幹線道路の市対応・雪害対策・ 郷原地区廃棄物中間処理施設計画について

平成の会 吉岡 完司

# 豪雪被害対策と教訓・特別支援教育・ 英語教育について

日本共産党安中市議団 金井 久男

西毛広域幹線の市対応について

**問** 当市の優先区間として、国道十八号市役所入口交差点から下秋間まで事業着手した現在の状況はどうなっているのか。

**答** 安中工区一・八キロメートル区間について、橋梁二か所とトンネルの設計及び用地調査・物件調査を実施し、用地交渉に入ると聞いています。

**問** 当市の優先区間以下の富岡までの安中・富岡工区の今後の進捗状況は。

**答** 未着手区間は、平成三十四年度までに着手予定の事業として計画が示されているが、早期の全線開通に努力していきます。

雪害対策について

**問** 今回の除雪に対する市の初期対応について、職員の招集状況や各方面への指示状況は。

**答** 異常な積雪量のため担当課職員が徒歩で出勤し除雪の連絡体制を整えたが、除雪に携わる一

部の事業者の対応が遅れました。

**問** 早期に警戒本部を設置し、その後災害対策本部を設置すべきだが遅れてしまった状況は。

**答** 大雪になる予想ができず、職員を招集し対策本部を設置するまでに時間を要しました。

**問** 被害を受けた市民に対して市のできる万全な対策を。

**答** 被害者の支援対策は個人の住宅や農業用施設等の支援を行う。その他、郷原地区廃棄物中間処理施設計画について質問しました。

豪雪と除雪対策について

**問** 除雪が遅れたが除雪契約している業者への対応、指示など実態はどうだったのか。

**答** 異常な積雪により、国道・県道も交通マヒとなり、十九業者に除雪の要請をしましたが、思うように進みませんでした。

**問** 狭い道路、路地などで雪のやり場に困ったが、事前に雪捨て場の確保が必要ではないか。

**答** 今回は、市有施設の広場と河川敷などの雪置場を十六か所開放しました。

特別支援教育、支援員などの待遇改善について

**問** 特別支援教室や発達障害児のための支援員の人数、待遇改善の計画は予定されているか。

**答** 支援教育助手が十九名、生徒指導推進支援員を二十五名配置しています。次年度から時給三十円引き上げる予定です。

英語教育とALTの実態について

**問** 現在のALTの授業受け持ち学級数は一人あたり何クラスか。

**答** 一人あたり平均で十六クラスになっています。

**問** 他市との比較で生徒がALTと接触できる時間数が少ないと思うが実態はどうか。

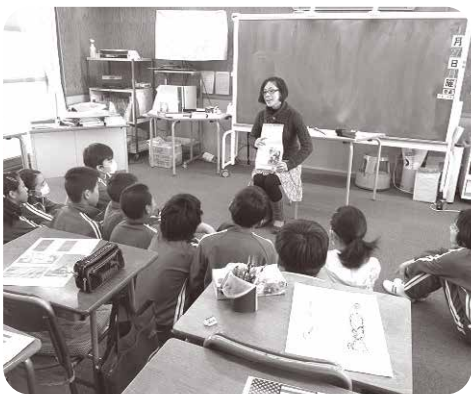
**答** 富岡市ではALTが授業に参加するのが九〇から六〇%ですが、本市では三三%です。

**問** ALTを増員して授業参加率を引き上げるべきではないか。

**答** すぐにでも二名は増員したい。



西毛広域幹線道路(富岡市内)



ALT授業風景